

市やめでたの会にとりこんでほしいことやアイデア(10～12月分)

連番	都道府県	高山市や飛騨高山めでたの会に取り組んでほしいことやアイデア
119	岐阜県	町の景観、環境保全、をよくするためにマイカー規制を推進して欲しい。よく、歩行者の事故がないものと不思議におもう。
121	千葉県	飛騨牛メインの飲食店ばかりで飽きる。地元の米、野菜、果物を扱った郷土料理が食べられる店や定食屋(居酒屋ではなくて)が少ない。夕方店が閉まるのが早い。夜何しようかといつも悩む。 高山へのアクセスが悪い。沖縄、北海道に行くより時間がかかる。高山から空港(中部国際空港、富山空港)への公共交通機関でのアクセスも悪い。首都圏からだとも5時間以上かかると心理的なバリアが高い。 地場の物(骨董、農作物、景色、高山ならではの物)をもっと観光客の心に響くように、ネット媒体でアピールしては?
122	岐阜県	高山市は国際都市として高い集客力があります。但し、市街地のみの従来の観光には限界があります。丹生川や清見、飛騨市等周辺地域には、世界的にみても素晴らしい自然と農産物、長い間守り続けてきた健康的な食文化(味噌や漬物、糍等発酵文化)があります。自然を活かす体験観光(稲作、野菜作り、果樹狩り、川遊び、カマクラ作り、ツリーハウス等)。寒暖差が大きく水の頂点に位置していることから美味しく安心安全な農作物が出来ます。農産物を観光として活用したらどうでしょうか。農業の担い手育成にも貢献できます。高山市は愛知県、富山県、岐阜県南部からとても近くなりました。宿泊しないで日帰りします。宿泊代が安いゲストハウスが増えて、観光客が増加しても地域活性化に結び付かないように思います。観光による経済効果＝訪問客数×滞在日数×感動だと考えます。先ほど述べたように高山は寒暖差が大きく水の頂点に位置しています。耕作放棄地対策として、愛知県、富山県から農作物(稲作中心に)を作りに来てもらうのです。地元の農家さんと共に田植えから稲刈りまで自分で収穫してもらいます。収穫物はすべて利用者の物です。耕地の利用と指導料は耕地の面積に応じていただきます。田植えだけ、稲刈りだけの体験でなく収穫までを一括体験するのです。農業に興味がある人は多いです。楽しければ家族だけでなく友人知人も呼ぶでしょう。自分で収穫した農作物は他人に自慢できます。最大の目的は、地元の農家さんと触れ合ってもらうことです。田舎の実家を作ってもらうことです。農作業だけでなく、夏には子供に虫取や川遊びを楽しんでもらうのです。数十年後の移住にも繋がると思います。都市では、1家族でミネラルウォーターに、年間に100円×4人×365日≒15万円以上使います。美味しく安心安全な農作物にそれ以上の価値は充分あると思います。農業は1年経てばリセットします。今回の趣旨と違うかも知れませんが。
123	愛知県	中心部を車が通れないようにして全て昔の景観にしてみたらどうでしょう 不便かもしれないが日本にそういう町があっても良いと思う 世界遺産になって欲しい
124	愛媛県	一度御正月を飛騨高山の合掌造りで迎えたいと思っております。雪山には慣れていないので不安が募ります、後交通機関も不安です。
136	千葉県	高山に住んでいた時期がありました。古い町並でアルバイトもしてました。スタバが出来たのは良かったですが、映画館が無くなってしまったのはとても悲しい。気軽に遊べる施設が少ないと感じました。温泉は沢山ありますが、関東地方で人気のあるおしゃれな「スパ」と言われる温泉娯楽施設があると、もっと気軽に高山に足を運んでくれるのではないかと思います。大阪からワイドビューひだで直通があるが、東京からの電車には直通は無い。関東からの直通列車があると、もっと身近に高山を感じられるようになる。中部縦貫自動車道開通が待ち遠しいですね。観光資源は沢山ありますが、遊べる施設が無いに等しいので、映画館復活から望みたい。
137	岐阜県	地元出身者で県外在住者に対するPRや誘致活動
138	滋賀県	私は出身地である高山市が大好きで、滋賀県内などで飛騨ナンバーの車を見ただけで嬉しくなります。ですから、関西在住の飛騨出身の方と交流できる機会が欲しいです。また、そのような活動が活発になれば、滋賀県内で高山市の観光PR活動が開催された際、ボランティアで協力させていただきたいと思われる方は、私だけでは無いのではないのでしょうか。楽しい会に発展することができたら、会員の増加などにつながるのでは?とも考えます。2月の関西めでたの会も楽しみにしていますが、会員だけでも交流が継続されると嬉しいです。また、めでた通信の件ですが、会員からの投稿も募集されてはいかがでしょうか。私はICT支援員をしておりますが、デメリット回避の為、Facebookはやっております。めでた通信は毎回とても楽しく拝読させていただいておりますが、会の益々の発展を切に願っております。